



基本計画

共通の視点

共通の視点とは、各分野でまちづくりを行う上で大切に考える考え方です。

人や地域資源を大切にすることを、市民同士だけではなく、市外の人や、市内外の組織や団体等がつながることで、それぞれの力を発揮し、地域一体となって地域の良さを高めるまちを目指します。また、時代の変化に対応し、効率的かつ効果的な行政運営・市民サービスの提供を進め、すべての人にとって安心して住みやすいまちを築いていきます。

●人財の育成支援

宗像市に住んでいる市民はもちろん、宗像市に通勤・通学している人や、宗像市を訪れた人など、宗像に関わる全ての人を大切にすることを進めます。

●多様な主体との連携

宗像に関わる人や組織が市内外問わずつながり、連携するまちを目指します。人、企業、学校、NPO、行政など、様々な担い手が協力し、相乗効果をもたらしながら循環するまちづくりを進めます。

●地域資源の活用

海、川、山、島などの豊かな自然やそこで生まれる食資源などの恩恵、世界遺産に登録されている誇りある歴史、市民協働の文化など、宗像市が大切にしてきた地域資源を活かしたまちづくりを進めます。

また、空き家や公園、道路などの都市資産を有効活用しながら、今あるものの効果を最大限発揮していきけるようなまちづくりを進めます。

●デジタルによる社会変革（DX）

DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、デジタル技術を活用した業務の効率化や、新たな価値の創造を図ることで、社会や組織を変革する取り組みのことです。

市民の生活において、便利さや効率を高め、暮らしやすい環境を目指し、デジタル技術を最大限活用したまちづくりを推進します。また、迅速な情報の収集や分析、発信はもちろん、根拠に基づいた政策立案が可能になります。

基本計画の見方

